

会議録

会議の名称	西東京市総合計画策定審議会第 23 回会議
開催日時	平成 15 年 8 月 7 日（木） 16 時 00 分から 16 時 30 分まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎 3 階庁議室
出席者	倉持委員、武田委員、竹内委員、堀越委員、山本委員、磯村委員、板垣委員、畑委員、小林委員（川村委員、永田委員、荒川委員欠席） （市側）市長、企画部長 （事務局）池澤主幹、櫻井主査、安藤主任、森谷主任、住田主事 （事務局支援）㈱インテージ
議 題	1. 西東京市総合計画策定審議会第 22 回会議録について 2. 西東京市基本構想・基本計画案について 3. その他
会議資料	(1) 西東京市基本構想・基本計画案（最終答申）
会議内容	発言者の発言内容ごとの要点記録
倉持会長	定刻となりましたので、第 23 回総合計画策定審議会を開会します。
倉持会長	（西東京市総合計画策定審議会第 22 回会議録について） 第 22 回の会議録について修正ありますか。問題なければ、確認とさせていただきます。
倉持会長	（西東京市基本構想・基本計画案について） 答申の前に、前回お任せいただいたところの確認をしたい。 63 ページ中ほど、かつては「地域と学校との連携」となっていたが、「家庭」という言葉を付け加えた。次の白丸、かつては「地域社会における教育力を高めるため、地域と学校との繋がりを深める取り組みをすすめます」となっていたが、ご意見を踏まえて、「児童・生徒の問題行動を未然に防止するために」として、ここにも「家庭」という言葉を入れた。家庭教育、家庭と学校との繋がりというのも重要なことだと思う。家庭の問題は話題にはなかったが、教育委員会との調整のなかで意見がでたということで、ご了解いただきたい。あとは、文言の整理はしたが、特に修正はない。 かがみ文はいくらかやわらかい言葉にした。これで答申をさせていただきたいと思う。
倉持会長	（西東京市基本構想・基本計画案（最終答申））を市長へ提出） ただいまから、私から市長さんに答申をお渡しする。 西東京市基本構想・基本計画案について（最終答申） （答申かがみ文読み上げ） （写真撮影）

池澤主幹	皆さんありがとうございました。ここで、会議で、本日の次第のなかにあります、「最終答申を終えて」ということで、できましたら委員の皆さんにご感想をいただければと思っております。この２年間、この計画策定にあたりまして、皆さんのお感じになったことなどを、最後のこの審議会の場で、是非ご感想、ご意見をいただければと思っております。 皆さんからいただく前に、市長からご挨拶いただいて、その後、委員の皆さんのご意見、ご感想をいただければと思っております。よろしくお願いいたします。
市長	ただいま、会長さんから最終の答申をいただきました。ほんとうに長い間ご審議いただきまして、ありがとうございます。 中間のまとめを拝見させていただいて、また市民説明会等もさせていただきましたけれども、市民の皆さん、非常に関心を示すとともに、非常にいい内容だということをお聞きしています。中間のまとめの段階でございましたけれども、果たして実行できるのかと、財源等も含めましていろんなかたちで、そういう意見もございました。私は市民のおおかたのかたが、ご賛成いただいたと思っております。それはひとえに、市民のかたからのいろんなご意見等も反映させながらまとめていただいた、委員の皆様のこの間のご尽力のたまものであると思っております。西東京市が誕生して３年目になりました。いままで新市建設計画という計画でやってまいりましたけれども、平成１６年度からは、この基本構想・基本計画案に基づきまして、事業をすすめてまいりたいと思います。あとは、委員の皆さんのこの汗の結晶といいますか、努力を、９月の議会で、議会の承認を得るという大作業が待っているわけですが、当市の大きな方向を示す構想でございますので、いろいろなご意見が、議会のほうからも出てくると思っております。万全の体制で、皆さんのご意向を反映できるように、行政運営に努めて参らなければならないと思っております。 私が短い時間で皆さんにお礼を申し上げるには、時間があまりにもなさすぎるという気はいたしますけれども、長い間、本日の最終答申を向かえるまでご苦労いただきましたことに対して、心からお礼を申し上げさせていただいて、答申をいただいたお礼とさせていただきたいと思っております。ほんとうにありがとうございました。
倉持会長	感想を含めてお礼のご挨拶を申し上げたい。 一昨年の８月３１日第１回審議会が開会された。基本方針の答申までに８回、その後部会が１０回、昨年９月以降１６回、重ねて本日にいたった。皆さん、多大なご協力いただいたことを厚くお礼申し上げます。 せっかちで多少議事をはしめるようなことがあったかと思う。この機会に一言お詫びを申し上げます。 全員のかたにご協力いただいたが、昨年の４月から８月にかけての、１０回の部会と市民ワークショップ、子どもワークショップ、これについては堀越部会長や市の職員に下地をつくっていただいて、そのお骨折りには感謝申し上げます。市の部会員だったかたにもよろしくお伝えいただきたい。 事務局、事務局補佐の方々にもご協力、ご指導いただき、ありがとうございました。
A委員	長い間、良い勉強をさせていただいた。市民活動に関わってきたのは、主に子どものこと、青少年育成会、社会教育関係で、ほんの一部分しか知らなか

	った。この会で、市の行政全般について考えていかねばならないことが大変負担だった。資料をいただいて、知らないことを勉強させていただいた。委員には、応募されたかたや、いろんな分野のかたがいらして、それぞれオリジナリティーに満ちたご意見をお持ちで、本当に刺激になった。ありがとうございました。
B委員	ありがとうございました。 参加当初は場違いなところに来たと思った。仕事を優先して、参加できないことも多いかと思ったが、参加していくうちに、この会の重要さを感じた。市民としての役割を実感し、こちらを最優先に出席してきた。仕事でも、まちづくり関係、子ども関係で学習する機会が多かったので、地域での活動にもプラスになったし、また、逆に学習したことをここで生かせることもあり、両方にとってよかったと思っている。 議会で承認していただいて、あとは、私たち市民がどうやっていくかが一番大事だと思う。既成事実づくりに巻き込まれたかと感じることもあった。それもこれからの生活の仕方次第かと思う。この２年間でこれからの私のための会議だったとも思っている。一緒にやれることを期待しているし、期待される市民になりたいと思っている。
C委員	２年間お世話になりました。 ずっと会社人間で、行政との関わりは、上位下達ということで、命令されたことをやるという市民意識しかなかった。審議会に出させていただき、横の同じ目線でいろいろ検討させていただいて、この２年間で地域に対しての考え方を改めさせられると同時に、市民としての責任の重さ、行政に働きかけると同時に、一緒に施策について協力してやっていかないといけない、ということがしみじみとわかった。非常に勉強になった。市民ワークショップのように、審議会でも、もっと市民のかたを巻き込んだかたちでやれば、さらによいものができたのでは。試みとしてはよかったが、若干消化不良だったかと思う。私たち審議会委員には、この基本計画に責任がある。今後もいろいろと関わりながら、バックアップしてやっていきたい。
D委員	２年間お世話になりました。 ２、３回出るうちに、えらいところに来てしまったと思った。いろいろ勉強したが、これまでの知識があまりないので、あまりお役に立てなく、反省している。出席された皆さんの博学や、専門分野の知識に感心していた。無遅刻、無欠勤で定足数を埋めることでは役に立てた。この経験を生かして、西東京市の将来を見ていきたいし、期待しているところである。ありがとうございました。
E委員	まず皆さんにお礼を言いたい。ありがとうございました。 初め、母の介護があるので断ったら、家で介護をするだけではなく、ここに出たほうがよいと言われた。介護サービスを使いながら出席できて、自分のためにもよかったと思っている。母もショートステイなどで大勢の人と接することでプラスになっている。私もここでいろんな人と接することができた。人間関係が人にとって大事なことだとしみじみわかった。 はりきっていっぱいしゃべってしまって、ご迷惑かけたと思う。普段いろんな人と接する機会もないので、楽しく、充実した時間をいただけた。 この審議会が終わって、これから市民として、自分がどう役に立てるのか

	責任を感じている。いま身動きができない状態なので、せっかく勉強したことが生かせないのは少し残念。
F 委員	2 年間ありがとうございました。 民生委員を引き受けて、そこで聞いたことをこの場で発言させていただいた。基本構想でないことまでお話しして、ご迷惑をかけてしまったこともあったのではと思っている。障害者の就労のボランティアをしているので、そのことや、図書館や公民館のことを、この場で皆さんにお話できたのはよかったと思っている。
G 委員	2 年間ありがとうございました。 なかなか立派な答申ができたのではないかと思う。ハードについてはやってしまえばおしまい。最後のほうで、重点プロジェクトの推進委員会を設置する方向ができて、ソフト部分として、市民参加のよいしくみをつくっていただいた。これだけでも総合計画をつくった意味があるのではないかとっている。 個人的には、まちづくり、都市計画には素人で、大変勉強させていただいた。毎月いただいた謝礼でまちづくりの本を買うようにした。2 年半ほど前に西東京に引っ越してきたばかりで、西東京市についてあまり知識がなかったが、2 年間勉強させていただいたことにより、単なる住民から、ようやく市民に踏み出せたのではないかとっている。
H 委員	子どもたちも含めて、市民ワークショップを開いた過程で、市民のパワーを感じた。そもそも、この審議会に関わるキッカケになったのは、旧保谷市の都市計画マスタープランをお手伝いさせていただいて、そのなかでワークショップを開いたということがあった。自分たちのまちを、よりよくするにはどうしたらいいのか、という熱意を、今回基本構想・基本計画案をつくる市民ワークショップで感じた。そのパワーを凝縮してこの計画に入れた。これからそれをどのように、市民のかたに返球していくか、それを勉強しないといけない。 ありがとうございました。事務局、委員の皆さん、ワークショップではお手伝いいただきありがとうございました。
池澤主幹	事務局のほうから、一言お礼のご挨拶を申し上げたいと思います。ほんとうに 2 年間ありがとうございました。 今日、この会議が 23 回目の審議会ということで、このほかに、先ほど会長さんから話がありましたように、10 回の部会を開催しています。実は、足しますと 33 回なんですけれども、それ以外に無償で、ほんとうに皆さん積極的に、夜間自主的にお集まりいただいて、さまざまな取り組みをしていただいたことを、大変ありがたく思っております。それを加えると、数え切れないほどの会合になったのではないかなと思っております。 この 2 年間振り返ってみますと、ちょうど担当した事務局としても、総合計画をつくるというのは、なかなかない事務でして、いま担当しております 3 名も、それこそはじめてという、こういう経験でした。最初はどこから入っていこうかということで議論しまして、そのなかで、基本方針をまずつくって、そのあといろいろな素材を集めて、そしてそれをもとにつくりあげていこうという話をしました。最初に基本方針をつくっていただいたあと、堀越先生にお願いして、部会を立ち上げていただき、部会のなかで

倉持会長	は、ワークショップ形式でやっていただきました。限られた期間のなかで、部会としての報告書もとりまとめしていただきました。この報告書をもとに、昨年の秋以降、具体的な案の作成に入っていきましたが、事務局といたしましては、できるだけ委員の皆さんのご意見を取り入れていこうという姿勢を基本としながら、また市長の考えなども取り入れ、担当部署との調整も連日のようにやりました。特に２月、３月の時期については、月２回のペースでの審議会開催ということで、会議が終わると、すぐ次の会議の議案の作成に入っていくということを繰り返しながら、連日この作業に取り組んでいたという状況で、いい思い出になっております。今回いただいたこの答申、先ほどＧ委員さんもおっしゃってましたけれども、私自身も納得いくものができたなとは思っております。これは今回いただいて、この市の基本構想・基本計画案として、議会のほうに出していくわけですが、これが議会のほうでお認めいただいたならば、今度は、計画をつくることが目的ではなくて、やはりこれを実行していくこと、これが行政に課せられた課題ではないかと思っております。それと同時に、やはりこの計画のなかには、市民との協働とか連携、そういった言葉が非常に多く入ってきております。そういう意味からも、是非こういう審議会でご活躍された皆さんも、市民として、また地域の核として、これから行政と一緒にあって、このまちをよりよくしていく取り組みを、一緒にできればと思っております。また是非どこかで、この事業展開のなかで、またお会いして、この計画を一緒に取り組んでいければと思っております。 本当に２年間ありがとうございました。事務局を代表して、ご挨拶申し上げます。ありがとうございました。 これで 23 回目の審議会を閉会します。
------	---